



うだかわ

大田原市立宇田川小学校
令和4年度 10月号
文責：飯村

教育目標：たくましく元気な子・すなおな明るい子・すすんで努力する子 経営方針：「元気・勇気・根気ある宇田川っ子」の育成

日中は暑さを感じる日もありますが、朝夕はずいぶん涼しくなってきました。全国的に8月半ばから新型コロナの感染が拡大傾向にありましたが、本校では感染者は少人数で抑えられている状況です。

さて、学校は10月12日から後期に入ります。稲刈り、市教育祭音楽会、遠足、修学旅行と、楽しい行事が続きます。御協力のほど、よろしくお願いいたします。

市陸上競技大会終わる！

9月9日（金）、3年ぶりに陸上競技大会が開催されました。今年は例年とは異なり、1人1種目のみ出場可、200m走の中止、6位以上が那須地区大会出場と、変更点がいくつもありました。8位以上の結果をお知らせします。

【5年女子】	80mハードル	7位	手塚茉那
	800m	8位	増淵 泉
	400mリレー	5位	小田切夏音・手塚茉那・室井結愛・石川唯奏
	ボール投げ	1位	石川唯奏 4位 室井結愛
【6年男子】	走り幅跳び	5位	岡野柊人
	ボール投げ	8位	増淵煌生
【6年女子】	400mリレー	7位	大森菜々美・磯ひまり・宮川ちとせ・鈴木ゆめり
	走り高跳び	5位	鈴木ゆめり
		8位	ニノ宮愛心
	ボール投げ	8位	宮川ちとせ



<主な行事(10月)>

10月1日(土)~11日(火) いちご一会国体	17日(月)~28日(金) 学力向上旬間
4日(火) 計画訪問	19日(水) 学力確認テスト 宇田川チャレンジテスト
6日(木) 前期終業式	20日(木) 市教育祭音楽会
7日(金)~11日(火)	21日(金) 1~5年遠足
秋季休業(土・日・祝日含む)	22日(土)~23日(日) 那須地区芸術祭
12日(水) 後期始業式	25日(火) 児童集会(1年)
13日(木) 委員会	26日(水) PTA総務部会・理事会
14日(金) 稲刈り(2・4・6年)	27日(木) クラブ
15日(土) 資源ゴミ回収	11月1日(火)~2日(水) 修学旅行

10月15日(土) 8:00~9:30

資源ゴミ回収 御協力をお願いします！！

☆☆☆宇田川公民館側からお入りください(ドライブスルー方式)☆☆☆

交通安全の看板ができました！

お気づきでしたでしょうか？不動橋近くに交通安全の看板が設置されました。これは宇田川ニュータウンの方々が児童の安全のために、市に交渉して設置してもらったものです。通学路の安全確保が地域で話題となり、市政懇談会で提案したり、何度も市に掛け合ったりして、設置が実現したとお聞きしました。本当にありがとうございます。子供たちの安全が地域のみなさんによって守られていることを実感しました。



さようなら ゆずりはの木...



今まで学校のシンボルツリーとして親しまれてきた「ゆずりはの木」ですが、残念ながら伐採いたしました。ここ数年、樹勢が落ち、昨年頃から完全に枯れた状態になってしまいました。なんとか形だけでも残せないかと思っていたのですが、枝や幹の空洞化が進み、倒木の危険が出てきました。歴史のある木を切ることは残念ではありましたが、児童の安全を第一に考え、伐採させていただきました。なお、伐採に際しては、歴代PTA会長代表の菅谷さんに相談し、地域の阿久津さんの御協力により作業を行いました。お世話になりました。

本校は令和6年度に創立150周年を迎えます。これを記念して、新たなゆずりはの木を植えることも検討したいと思います。



創立100周年誌より

前回紹介した創立100周年記念誌には当時の児童の作文も載せられていました。とても印象に残ったものがありましたので、紹介します。

こんな学校になったら 二年 やだ けいいち
ぼくたちの学校は、いま、大田原で一ばん小さい学校だときいた。それで、ぼくはこれからこんな学校になったらなあゆめを見てしまった。それはこうなんだ。
五かいだてのおく上つきのたてもので、ボタンをおすとふわっとうきあがり、じぶんの行きたいきょうしつに行ける。どのきょうしつにもテレビでんわがあって、だれとでも話ができて、外国の子どもとも友だちになれるんだ。(中略)
おく上からはきれいな、にじのようなすべり台があって、それは音楽すべり台なんだ。みどり色はしずかな音、赤い色はおどりのきょく、黄色は楽しいうた、むらさき色はおかあさんのやさしい子もりうたがきこえるんだ。楽しくおどって、しずかな子もりうたでおひるねをし、元気に勉強できるなんて、ほんとうにいいなあ。それにひろいにわにはきれいな花がさいっていて、ハチもチョウもぼくたちとあそぶんだ。とてもいいにおいで、いい気もちだ。
ぼくはこれからもっともっとたったら、きっとそんな学校になるのじゃないかとほんとうに思っているよ。

50年の時を越えて、子どもの「学校」に対する思いが伝わってきます。それと同時に、子供たちにとって夢のある素晴らしい学校を作らなくてはいけないと思いました。ちなみにこの作文を書いた方は、現在、那須地区で教員をしていらっしゃいます。先日お会いしたときに、この作文の話をしたところ、載せても構わないとのことでしたので、掲載させていただきました。